

研究報告書（分担者）

厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）
（総括 分担）研究報告書

聴覚障害児に対する人工内耳植込術施行前後の効果的な療育手法の開発等に資する研究

研究分担者 北 義子 武蔵野大学 人間科学部

研究要旨 聴覚障害児に対する人工内耳植込術前後の効果的な療育手法の開発にあたり、保護者のかかわりの影響についてCQとしてまとめを行い、さらに修正すべき点について、文献・書籍にて調査を行った。

A. 研究目的

保護者のかかわりが人工内耳装用児に及ぼす影響や保護者のかかわりの質について検討した。

B. 研究方法

システマティックレビューによって得られた情報をもとに、新たにハンドサーチにより得た文献・書籍により保護者のかかわりについて課題を検討した。

C. 研究結果

人工内耳装用児の言語発達は保護者による聴覚および言語刺激とその提示の仕方（発達段階にあっているか、注意を共有できているか、介入のタイミングが合っているか）などに影響される。

D. 考察

人工内耳装用児の養育者は、生活の中で子供の聞こえの段階に応じた適切なかわりを言語刺激と他の刺激を用いて子供のタイミングに合わせて行うことが重要である。

E. 結論

人工内耳装用児の養育者のかかわりが効果的に行われるよう初期の支援が重要である。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

2. 学会発表

成田あゆみ, 下嶋哲也, 北義子, 西村雅史.
母子相互作用場面における乳児の発声行動の分析 第46回日本コミュニケーション障害学会学術講演会, 2020. 5. 30, 仙台

H. 知的財産権の出願・登録状況
(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし